

# 庁舎建設について 地域住民との懇談深める

## 市

の財政は、合併効果や行政改革など、さまざまな取り組みによって改善しています。

合併時点では、旧3町村が道路や下水の整備などのために借り入れた地方債の残高は、約360億円ありました。この4年間で、こうした債務を約28億円削減しています。また、自治体の貯金に当たる基金も合併時の約28億円から約43億円に増加するなど、財政状況はおおむね好転しています。

広報はちまんだい70号20年10月2日発行）紙上でもお知らせしていますが、総務省の基準に基づいて自治体が公表している財政指標の一つに将来負担比率というものがあります。これは、自治体の財政

## 財政状況と庁舎建設

### 市の厳しい財政状況で 庁舎を建てても問題ないの？

#### ●県内13市の将来負担比率

八幡平市	110.4%
遠野市	125.2%
二戸市	143.3%
盛岡市	149.4%
釜石市	151.8%
宮古市	157.5%
大船渡市	170.2%
一関市	179.6%
花巻市	191.1%
久慈市	205.8%
奥州市	206.4%
陸前高田市	210.6%
北上市	218.8%
県内平均	144.8%

規模に対して、借入金返済にかかる実質的な負担額の割合を示すものです。この数値が高いと、将来的に財政が厳しくなることが見込まれるというもののですが、市は110.4%で県内の市の中では最も低く、東北の75市の中でも8番目に低い状況です。

こうした背景には、合併以前から財政規律を厳しく保ち続け、借入金返済額の一部に地方交付税を受けられる、有利な制度を活用してきたこと

によるものです。今回の庁舎建設にも、合併特例債という有利な制度を活用することになっています。

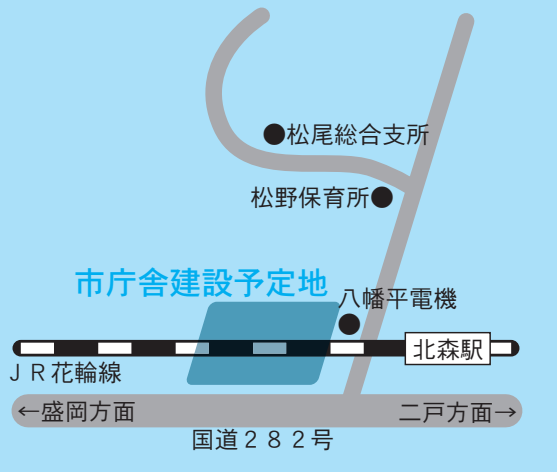
【合併特例債について詳しくは、左ページコラム参照】

借入金の返済は、17年度から19年度にかけての山場をすでに過ぎましたので、今後も過大な重荷になることはありません。なお、これらは現段階の指標ですので、庁舎や下水道などの建設事業の実施も盛り込んだ上で市財政の将来的な見通しの計画を立て、市政の健全性を保ちながら市政を運営していきます。

市は、庁舎建設について、地方交付税の優遇制度のある合併特例債を活用できるこの時期に実施することが、負担が少なく、市民にとって最も良いと考えています。

本年5月に策定した市庁舎建設基本計画について、市民の皆さんに理解を深めてもらおうと、5月25日の柏台分館を皮切りに、市内12会場で説明会を開催しました。今回は、この説明会で交わされた質疑の中から、主なものを紹介します。





## 建設する場所は どんな理由で決まったの？

### 庁舎の建設予定地

#### 合

併協定の項目として通称「平館・野駄田圃付近」に建設することを決定しています。

この地域の中でも、農業経営に支障とならない場所であること、隣接する市有地があり用地買収・造成費用が安くなること、国道282号に隣接し、建設中の西根バイパスの終点に近いことなどから、建設予定地を定めました。

平館駅側にしてはどうかという案も検討段階ではありましたが、庁舎へのアクセス道路として、線路を横断する立体交差道路などが必要になり、この道路整備だけで20億円以上の経費が新たに発生します。より少ない経費で、効率的な施設を建設するという観点から、この位置への建設を計画したものです。

また、庁舎が移転すること、不便を感じることはないよう、公共交通機関とのアクセスを良くすることや道路整備などを通じて、来庁しやすい環境を整備します。



## COLUMN 合併特例債のあらまし

合併特例債は、合併した自治体が建設計画に基づいて行う事業に必要な資金を借り入れることのできる地方債で、合併をした年度を含めて11年間に限って発行することができる制度です。

元金と利子を合わせた返済額の70%に対して、国からの地方交付税を受けることができる有利な制度で、財政負担が軽くなります。庁舎建設基本計画では、14億7900万円を借り入れる計画で、このうち70%に当たる10億3530万円が地方交付税の対象となります。

### ■合併特例債の返済イメージ(10年で返済)

市負担 4437万円	地方交付税の対象 1億353万円	×10年
---------------	---------------------	------

※このほか、利子分も70%が対象です

### まちづくりと庁舎建設

## 庁舎周辺の土地は どのように利用していくの？

#### 平

館野駄田圃は、市を代表する優良農地の一つですので、市として開発をする計画はありません。

「農と輝の大地」を将来像として掲げる市は、庁舎周辺の地域を今後も継続的に農地として耕作されるようにしていきたいと考えています。庁舎の建設予定地を検討するに当

たつても、農地の集団性を確保して農業経営をするに当たって支障とならないことを重視しました。

また、本庁舎機能が移転したからといって、既存の商店街などに影響が出ることがないように振興策を推し進めて、にぎわいのあるまちづくりをしていきます。

解体・撤去する松尾総合支

所庁舎跡地の活用方法などは、今後の市総合計画を策定する中で検討していきます。





## 西根総合支所は 庁舎完成後にどうなるの？

### 庁

舎完成後も、現在の  
本庁舎は西根総合  
支所として活用し  
ます。このほか、市民活動や交  
流のための施設として活用。  
起業創出の支援拠点や、産学  
官連携による市の産業振興に  
つなげるための拠点機能、農  
林業関係事務所などとして活  
用してもらえよう、働き掛  
けを行っているところです。  
市外から、勤務先などとして

人が訪れてもらえるような場  
として活用していきたいと考  
えています。

具体的な利用方法を検討す  
るため、庁舎建設後の西根総  
合支所に配置する職員の数や  
空き空間として利用可能な面  
積などを精査するほか、関係  
機関や市民団体などの話し  
合いを行っていきます。

安代総合支所は、庁舎建設  
後もこれまでどおり存続しま



す。松尾総合支所は、庁舎建設  
後に機能を統合。現松尾総合  
支所庁舎は、耐震基準を満た  
さないことから解体・撤去し  
ます。

### 北

森駅を現在の位置  
から平館駅側に移  
転し、新庁舎の敷地  
内に併設しようと計画してい  
ます。これまでもJR東日本  
と協議を行ってきていますが、  
前向きに検討してもらってい  
るという感触を得ています。

これから事業を進めるに当  
たって、今後策定される詳細  
な建設計画や周辺環境整備計

画をもとにJR東日本と定期  
的に協議を継続していくこと  
を申し合わせています。今回  
の計画では示すことができな  
かった駅整備に関連する経費  
や負担割合など、さらに詳し  
く話し合っています。

現在の庁舎は、いずれも自  
動車でのアクセスに主眼を置  
いていましたが、新庁舎は鉄  
道に限らず、公共交通機関と

### 駅舎併設の実現性と効果

## 庁舎と駅舎が併設できる 可能性はどのくらいあるの？



の接続性を良くすることで、  
自動車を運転できない人でも  
気軽に来庁することができ  
るものと考えています。



## ◎意見募集の概要

■募集期間 4月24日(金)～5月13日(水)

■告知方法 市ホームページ、広報はちまんたい

■意見件数 総計2人、16件

## ◎意見の概要と市の見解

▽第1章 新庁舎の施設整備の考え方

**意見概要** 西根庁舎は残るので、市民の交流、活動や憩いの場の提供は、考えなくて良いと思います。

**市の見解** 市民協働の場として、夜間や休日でも自由に利用できる施設として、市民か

らの要望で計画しました。  
**意見概要** 耐用年数、耐震性については、十分な地質調査が必要です。

**市の見解** 建設予定地は水田地帯であるため、地質調査をしつかり行い、十分な耐震性を持った庁舎とします。

**意見概要** 議会のテレビ中継と庁内に放送が流れるシステムを備えてはどうでしょうか。  
**市の見解** 今後の設計段階で参考とします。

▽第2章 新庁舎の位置と周辺整備

**意見概要** 庁舎位置は上の図の①を提案します。合併の趣旨に合い、将来の施設などを考慮した場合に適地と考えられます。また、駅からの距離もそれほど遠くなく、人口などを考慮するとこの地が北限と思います。駅併設を考えた場合は、図の②を提案します。

**市の見解** 図の①は、国道から線路を越えるための踏切が狭く、平館駅まで若干距離があります。また、将来の施設計画などは今後の市総合計画で検討するもので、この計画に含めることは困難です。また、駅併設の場合として提案された図の②は、踏み切りの問題や、平館駅前の開発は面積に限られ、利便性の確保に問題

# 市庁舎建設基本計画(案)への意見募集結果と市の見解を公表します

市民の皆さんの意見を幅広く取り入れ、より良い計画をつくろうと、4月24日からパブリックコメントを行いました。寄せられた意見の概要と、それに対する市の見解を公表します。

があると考えます。  
**意見概要** 交通弱者とは車を持つていない人のことですか。ふさわしくないと考えます。  
**市の見解** 表現を訂正します。  
**意見概要** 庁舎位置については、市民全体の意見を聞くために、住民投票を提案します。  
**市の見解** 庁舎位置について、住民投票は想定していません。  
**意見概要** 西根バイパスとの

連絡道路は、図の③の位置で立体交差の新設を提案します。  
**市の見解** 立体交差の場合は、非常に高額の事業費がかかることなどから、提案の場所への設置は現実的には厳しいと考えられます。  
**意見概要** 拡幅道路は、水路南側に増設を提案します。駅と道路の間の土地を広く活用可能で、既存道路も有効利用。将来の道路拡幅も容易です。  
**市の見解** 今後の参考とします。  
**意見概要** 中期将来の第2西根バイパスのルートとして図の⑤を提案します。  
**市の見解** 現在のところ、計画にありませんが、今後の参考とします。  
**意見概要** 自家用車への依存度が高まったのは、最近ではないと思います。  
**市の見解** 表現を訂正します。  
▽第3章 新庁舎の規模  
**意見概要** 特別職は多忙で在席する時間は少ないと思います。個室の大きさを執務の効率が上がるとは思いません。  
**市の見解** 特別職の部屋については、執務だけでなく、来客や事業協議の場として利用しています。そのため、特別職の個室は現状では若干狭いため、約2割増しの計画としました。

**意見概要** 正副議長室も特別職室と同様です。  
**市の見解** 現状と同じ広さで計画しました。  
**意見概要** 議員更衣室は将来的にも女性議員さんが選出される展望は見られませんし、ロッカーだけなら会派室に備えれば良いと思います。  
**市の見解** 約50年は使用する庁舎であることから、計画に取り入れました。  
**意見概要** 一般財源は使用せず、庁舎建設基金と合併特例債で建設してください。  
**市の見解** 基本的には、合併特例債と庁舎建設基金を充て、一般財源は最低限度の支出となるよう進めます。  
**意見概要** どのような建物ができるのか事前に不明なデメリットがあるにもかかわらず、発注者の意向が反映しやすさと変更しやすさから、プロポーザル方式を採用するとしているが、分かりにくい。  
**市の見解** 分かりにくい表現となっていましたので、訂正します。  
**意見概要** 計画実施報告を毎月の広報紙にコーナーを設けて発信してください。  
**市の見解** 庁舎建設の情報は、今後も市民の皆さんに広報紙を通じて提供します。